

新北九州市立八幡病院基本設計について

平成 26 年 5 月に策定した「新北九州市立八幡病院基本計画」を踏まえ、全ての市民の安全・安心な暮らしを支える拠点医療施設を整備するため、新北九州市立八幡病院基本設計をとりまとめています。その概要を報告します。



完成イメージ

1. 新病院の概要

- (1) 計画地 : 北九州市八幡東区尾倉二丁目 6 番（尾倉小学校跡地ほか）
- (2) 敷地面積 : 約 24,000 m²
- (3) 構造、階数 : [病院棟] 鉄骨造 地上 7 階（屋上にヘリポート） 免震構造
[エネルギー棟、院内保育所] 耐震構造
- (4) 延床面積 : 約 28,600 m² ※九州国際大学文化交流センター改修部分を含む
- (5) 病床数 : 350 床
(開院時は 300 床を目途に運用し、開院後は患者数の動向や医療制度改革等を踏まえて、適宜実態に即した運用を行う)
- (6) 診療科 : 18 科（現病院の診療科の体制を維持）
- (7) 駐車場 : 200 台
- (8) 事業費 : 154 億円

2. 新病院の特徴について

救急・小児・災害医療を強化し、市民の安全・安心を支える病院

(1) 救急・小児医療の充実・強化

- ・24時間365日稼動する救急部門と小児部門を1階に集約することで、迅速な対応を可能とします。
- ・重篤な患者を受け入れるICUと小児専門の集中治療室PICUを手術室と同一フロア（3階）に配置し、緊急及び高度な医療を提供します。
- ・5階の小児病棟に小児患者や家族がくつろげる中庭（（仮称）キッズ・ガーデン）を整備します。
- ・新八幡図書館との連携を強化し、病院への配本サービスや小児病棟での読み聞かせなど、より一層の療養環境の充実を図ります。

(2) 災害医療の充実・強化

- ・大地震時でも医療機能が継続できるよう、建物を免震構造とします。
- ・災害時や緊急時に患者受け入れや搬送を行うため、屋上にヘリポートを整備します。
- ・大規模災害時には、平面駐車場を資機材の搬入スペースや関係車両の駐車スペースとして最大限に活用します。
- ・多くの傷病者の重症度と緊急度を判断するトリアージスペースが確保できるよう、正面玄関前のアプローチを整備します。
- ・災害時の患者受け入れ体制を強化するため、1階のエントランスホールや4階の大会議室に医療ガス設備などを整備します。

(3) その他

- ・感染患者専用の入口や診察室などを整備し、感染対策に取り組みます。
- ・成人外来部門は2階に集約配置し、吹き抜けなどの開放的な空間と分かりやすいサインなどにより、利用しやすい施設整備を行います。

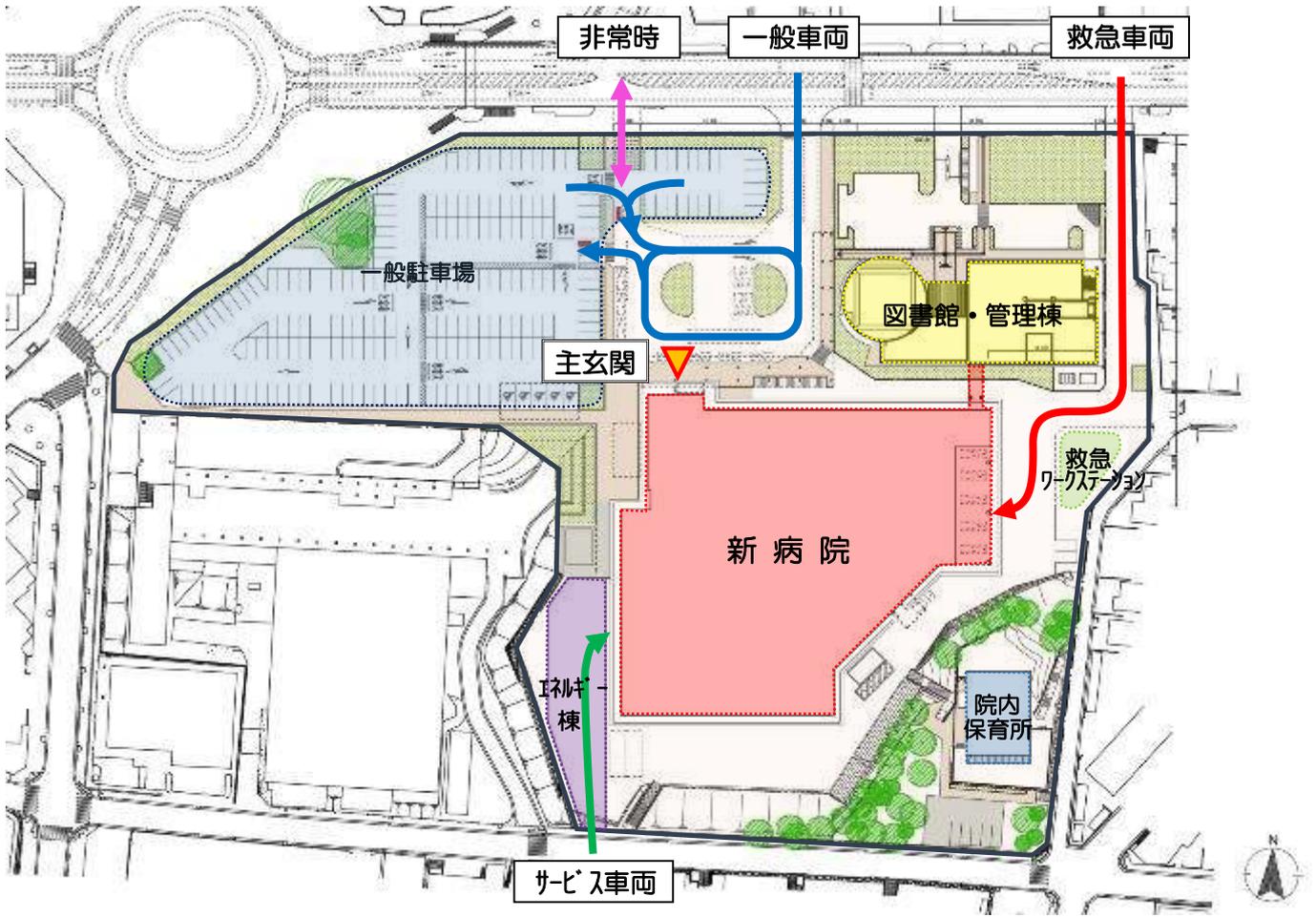
3. 今後の取り組み

(1) 病院本体工事

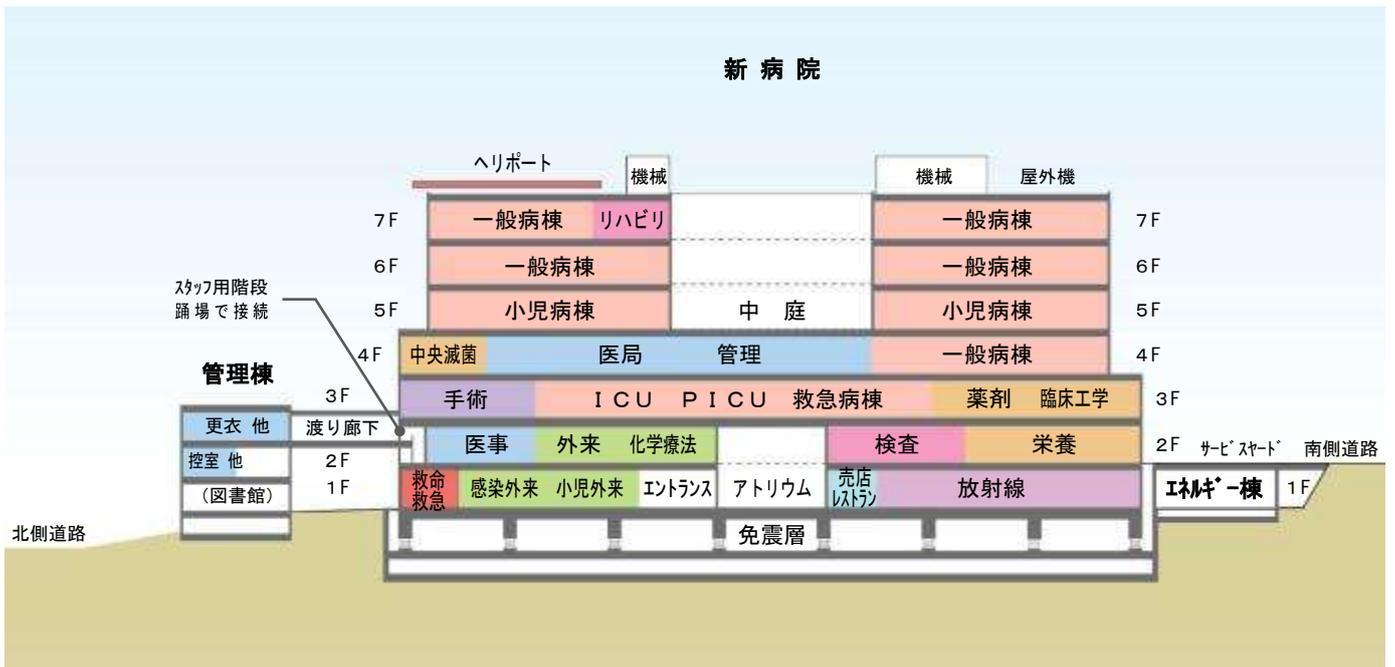
- ・予算成立後、設計施工一括発注方式の事業者選定作業を行い、11月頃に契約予定。
- ・平成28年夏頃の実施設計の完了後、工事に着手し、平成30年度内に開院予定。

(2) 管理棟改修工事

- ・九州国際大学文化交流センターの2階の一部と3階は病院の管理部門として改修し、新八幡図書館との複合施設として整備します。
- ・現八幡図書館については、外観や内部の記録映像などを作成し、新八幡図書館内で視聴できるようにします。



=== 配置計画図 ===

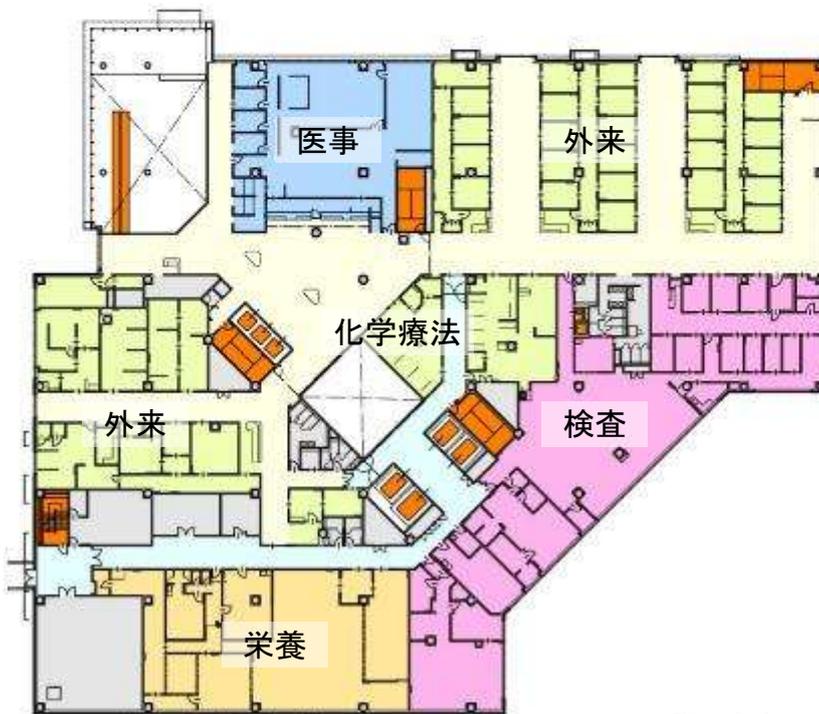


=== 断面構成イメージ図 ===

新北九州市立八幡病院 基本設計平面図



1階 救急・小児外来・放射線フロア



2階 成人外来・検査フロア

新北九州市立八幡病院 基本設計平面図



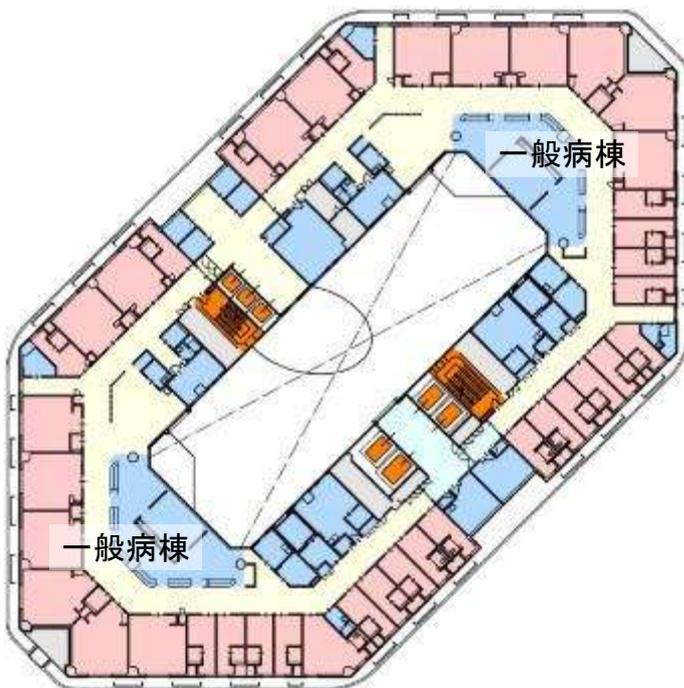
3階 手術・特殊病棟フロア



4階 管理・一般病棟フロア



5階 小児病棟フロア



6階 一般病棟フロア



7階 一般病棟・リハビリフロア



=== 中庭 ((仮称) キッズ・ガーデン) イメージ図 ===



=== 災害対応時 イメージ図 ===

本イメージ図は、基本設計作業過程にて作成したものであり、
建物の形状等は現在の計画とは異なります。